

**「60代」での仕事検索は、過去4年間で2.6倍に。
都道府県別では、石川・大阪・北海道・千葉での検索が大きく増加！**

**Indeed は、シニアのセカンドキャリア支援のため、
『キャリア棚卸&発見シート』を使いやすくリニューアルし、
自治体・企業への無料提供を開始！**

～千葉県では、柏市生涯現役促進協議会に4月より設置開始。誰でも自由に利用可能～

世界 No.1 求人検索エンジン* 「Indeed (インディード)」の日本法人である Indeed Japan 株式会社 (本社：東京都港区、代表取締役：大八木 紘之、<https://jp.indeed.com> 以下 Indeed) は、50代以降の方々のセカンドキャリア構築や仕事探しを支援するため、「シニア期に向けた『キャリア棚卸&発見シート』」(以下、『キャリア棚卸&発見シート』)を、2022年12月に制作・公開しましたが、利用者の声を受け、より使いやすいものにリニューアルし、誰でもお使いいただけるように特設サイト (<https://jp.indeed.com/cm/senior>) 上で公開いたしました。さらに、50代以上の住民や従業員のこれからのキャリア支援を考えている自治体や企業・団体に向けて、必要部数を無料で提供いたします。



リニューアルした「シニア期に向けた『キャリア棚卸&発見シート』」

Indeed の検索画面上で、「60代」に関連したキーワードを入れて仕事検索がされる割合は、過去4年間で2.6倍になっていることがわかりました。都道府県別に見ると、検索数の増加率が高かった上位4位は、石川県・大阪府・北海道・千葉県でした。

この中の千葉県において、50代以上の就業支援に取り組む柏市の、柏市生涯現役促進協議会において、今月から『キャリア棚卸&発見シート』を設置いただくこととなりました。柏市や近隣地域にお住まいの皆様は、無料で本シートを入手し、活用いただくことができます。

Indeed は、「We help people get jobs.」をミッションに掲げ、あらゆる人々が公正に自分に合った仕事に就ける社会の実現を目指しています。昨今の日本において、就業希望者が増加している一方で、不安や課題を感じる人も多いシニアの就業やセカンドキャリアの構築を、本取り組みを通じて支援していきたいと考えています。

■ 本取り組みの背景：シニアの就業に関する社会変化と課題

2021年4月1日に施行された改正高齢者雇用安定法により、65歳から70歳までの労働者の就業機会を確保するため、事業主に対し「70歳までの定年引上げ」「70歳までの継続雇用制度」などの措置を講ずる努力義務が設けられました。また、2022年4月より、年金制度改正法等の施行により年金制度の一部が改正され、繰下げ受給の上限年齢が上げられました。これらの環境変化に伴い、今後も働く高年齢層が増えていくと考えられます。

実際に、総務省の統計データでは65歳以上の高齢者の就業者数は増加^{*1}しています。Indeedの調査でも50代～70代の約6割がシニア期も働く意欲・必要性を持つ^{*2}一方で、9割以上が働くことに不安や課題を抱えている^{*2}こともわかっています。シニアの仕事探しや就労には多くの課題や障壁が存在しています。

そこでIndeedでは、シニアの仕事探し・就労をサポートするために、さまざまな取り組みを行っています。このたび、Indeedが開発した『キャリア棚卸&発見シート』をより多くの方にご活用いただくため、シートのリニューアルを行いました。また、より多くの方に手に取っていただきやすいように、自治体や企業・団体への無料提供も実施いたします。

※1: 総務省統計局「統計トピックス No.132 統計からみた我が国の高齢者－「敬老の日」にちなんで－」
(<https://www.stat.go.jp/data/topics/topi1292.html>) より

※2: 2022年9月 Indeed 調査結果 (<https://jp.indeed.com/press/releases/20221007>) より

■ 「シニア期に向けた『キャリア棚卸&発見シート』」について

昨今、仕事探しや就労にあたってはシニア特有の障壁が存在しています。そこでIndeedでは、セカンドキャリアコンサルタントの高橋伸典氏と共同で、『キャリア棚卸&発見シート』を開発し、2022年12月に公開しました。また、柏市生涯現役促進協議会が主催する『55歳からの柏セカンドキャリア塾』において、本シートを使ったワークショップを開催し、55歳～69歳の方々にご活用いただきました。

この度、実際に『キャリア棚卸&発見シート』をご活用いただいた方々からのご意見等を元に、より使いやすく有用なものとなるようにリニューアルし、本日より特設サイト上で無料公開いたします。特設サイト上では、『キャリア棚卸&発見シート』の使い方の説明の他、50代以降の方々の仕事探しや就労に役立つ情報も掲載しています。



● 入手方法

以下の特設サイトにアクセスし、必要事項をご入力いただくと、無料でダウンロードできます。

➤ 特設サイト URL : <https://jp.indeed.com/cm/senior>

➤ 特設サイト内容 :

- ◇ 『キャリア棚卸&発見シート』の使い方説明
- ◇ 『キャリア棚卸&発見シート』の利用者の声
- ◇ 50代・60代からの仕事探しやキャリア構築に役立つ情報 (Indeed キャリアガイドの記事紹介)

● 『キャリア棚卸&発見シート』をご利用いただきたい方

- 50代・60代に入り、定年退職後のキャリアについて改めて考えたいと思っている方
- シニア期に入り、新しい仕事を探す上で、自分にはアピールできる強みがないと思っている方
- これからの人生におけるセカンドキャリアを考えるにあたって、客観的に自分を見つめ直したいと思っている方

■ 「シニア期に向けた『キャリア棚卸&発見シート』」の自治体・企業への無料提供について

Indeed では、新しい仕事への就業を希望したり、セカンドキャリアを構築したいと考えている 50 代以降の方々に、『キャリア棚卸&発見シート』をよりご活用いただきたいと考え、自治体や企業・団体への無料提供の受付を開始いたしました。特設サイト (<https://jp.indeed.com/cm/senior>) からお申し込みいただけます。

50 代以降の住民の就業支援を行っている自治体や、50 代・60 代以降の従業員の定年退職後や今後のキャリア支援を検討したいと考えている企業・団体で、『キャリア棚卸&発見シート』の活用を希望される場合、無料で必要部数を提供・送付いたします※3。ぜひ、住民や従業員の方が手に取りやすい場所に設置いただいたり、研修等で活用いただきたいと考えています。

※3: 提供・送付可能数には上限がございます。詳細はお問い合わせください。



「シニア期に向けた『キャリア棚卸&発見シート』」

◇ 千葉県柏市における『キャリア棚卸&発見シート』の設置

実際に、高年齢者の雇用機会確保の施策のひとつとして厚生労働省が立ち上げた「生涯現役促進地域連携事業」を受託している千葉県柏市（柏市生涯現役促進協議会）では、4月20日（木）より『キャリア棚卸&発見シート』の住民への無料配布の開始を予定しています。柏市生涯現役促進協議会の相談窓口を設置されるため、どなたでもお気軽にお手に取ってご活用いただくことができます。

- 設置時期：2023年4月20日（木）より設置予定
- 設置部数：200部
- 設置場所：柏市生涯現役促進協議会「かしわ生涯現役ネット」
（千葉県柏市柏1丁目7番1号 Day One タワー3F パレット柏内）
お問い合わせ：04-7157-0282（平日10時～16時）

※部数には限りがございます。無くなり次第、配布は終了となりますので、あらかじめご了承ください。

◇ 千葉県柏市 柏生涯現役促進協議会 担当者コメント

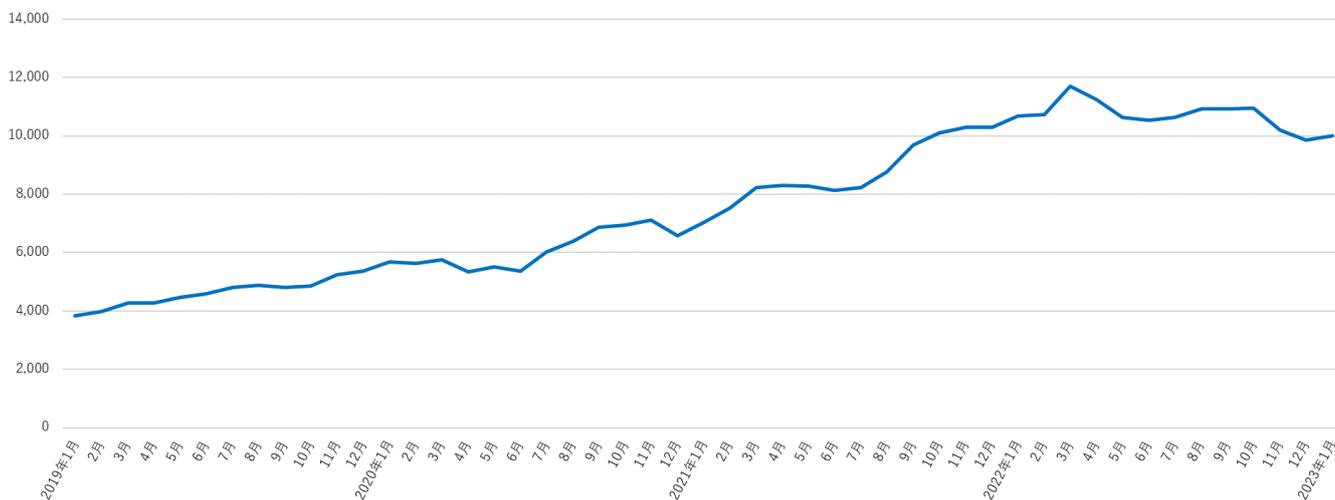
本シートを提供し、設置・無料配布が決定した千葉県柏市の柏市生涯現役促進協議会 事業統括員 二瓶陽子氏は、市内のシニアの就労状況や課題、本シートの活用について以下のようにコメントしています。

『柏市では、ベッドタウン特有の課題である「リタイア後のセカンドライフの空洞化問題（地域のことを知らずリタイアした後、新たな活躍の場を見出せないままにいるシニアの問題）」に、いち早く取り組んでまいりました。シニアを対象とした求人開拓や窓口相談、各セミナーを実施する中で、多くの方から「地域に出ていく自信がない（不安がある）」とのお声をうかがいます。『キャリア棚卸&発見シート』の活用により、ご自身の強みを再発見し、地域人材として、セカンドキャリアへ前向きに一步を踏み出すきっかけにいただければと考えております。』

■ 「60代」をキーワードとした仕事検索割合の推移

2019年1月から2023年1月の過去4年間において、Indeed上で「60代」に関連するキーワードを用いた仕事検索の推移を調査したところ、「60代」の仕事検索数は2.6倍になっていました。都道府県別にみると、すべての都道府県で検索数が増加していることがわかりました。最も増加率が高かったのは石川県で3.9倍、最も増加率が低かった山形県でも1.6倍に増加していました。3倍以上の増加がみられた都道府県は上位から順に、1位 石川県（3.9倍）、2位 大阪府（3.4倍）、3位 北海道（3.3倍）、4位 千葉県（3.3倍）、5位 青森県（3.2倍）、6位 埼玉県（3.2倍）でした。

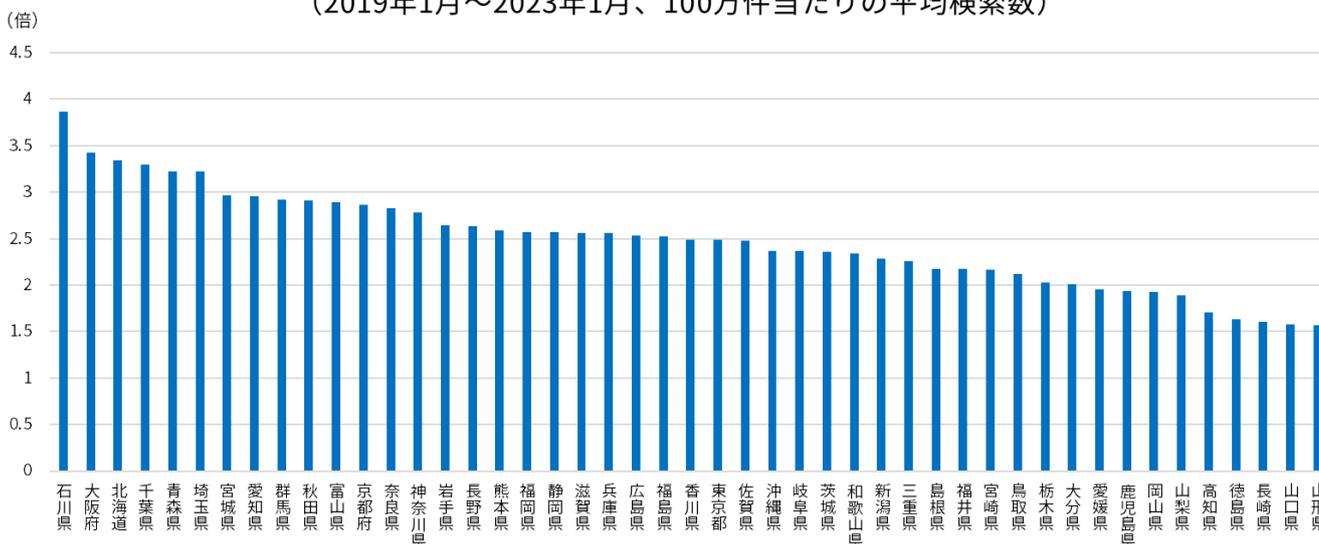
「60代」をキーワードとした仕事検索数の推移
(2019年1月～2023年1月、100万件当たりの平均検索数)



【注】本データは、2019年1月～2023年1月における仕事検索数100万件あたりの各月の平均推移を示したものであり、実数字ではありません。

「60代」をキーワードとした仕事検索数の増加割合（都道府県別）

(2019年1月～2023年1月、100万件当たりの平均検索数)



【注】本データは、各都道府県における仕事検索数100万件あたりの仕事検索数の増加割合を、2019年1月と2023年1月で比較したものです。

◇ 「60代」の仕事検索推移に関する有識者コメント：独立行政法人労働政策研究・研修機構 理事長 藤村博之氏

仕事検索数で上位となっている石川県、大阪府、北海道などは政令指定都市があることからそのエリアで仕事を探す人も多いことが考えられます。また、これまでは大きな都市で働き、近隣エリアから通勤していた人が、生活圏となっている場所で仕事を探すケースも多いのではないかと思います。

都市部の就労者は、地方出身者で構成されることが多く、定年を迎えた後でもやりがいなどを求めて、そのまま

都市部で新たな働き先を見つけようとすることもあります。

一方で、検索数の増加率が100%に満たない（前年から2倍未満）のは、地方の都道府県に多い（大都市圏ではない）傾向があります。こういった地域では、60歳または65歳の定年を迎えた後は、農作業に従事したり、仕事という接点に限らず地域のコミュニティやボランティアなど別の形で社会との関わりや繋がりを持つようしたりする方が多いのではないかと考えられます。そのため、仕事の検索数は増加しているものの、そこまで大きな伸び率となっていない可能性もあるでしょう。

シニアの就業には、現在さまざまな障壁や課題があるのは事実ですが、今後ますます人手不足が進んでいくであろう日本においては、シニアの雇用がその課題を解決する一助になると考えられます。例えば、人手が不足している業界のひとつに介護業界が挙げられます。介護の仕事においては、資格がないとできない仕事と清掃や送迎などのように資格を持たなくてもできる仕事に分けられます。また、清掃や送迎などは、フルタイム就労ではなく、時間を区切って柔軟性を持った雇用を産み出すこともできます。こういった雇用は、体力的な課題が顕在化してくるシニアにとっても、就労しやすく、また、経験やスキルを活かすことができる機会となり得ます。このように、資格者と資格を持たないが就労機会を求めている方を組み合わせた求人・雇用や、勤務時間に柔軟性を持たせた求人・雇用によって、シニアの就労機会は増加しますし、企業側も人手不足の解消につなげることができます。「高齢者の仕事はこれ」という杓子定規な考え方ではなく、さまざまなケースやニーズに応じて柔軟性をもたせることが大切です。

【有識者プロフィール】



藤村 博之（ふじむら ひろゆき）

独立行政法人労働政策研究・研修機構理事長。京都大学助手、滋賀大学助教授、教授を経て、1997年に法政大学経営学部教授、2004年4月から大学院イノベーション・マネジメント研究科教授。2023年4月から現職。専門は労使関係論、人材育成論。著書に、『人材獲得競争—世界の頭脳をどう生かすか』（竹内、末廣と共著、学生社、2010年）、『新しい人事労務管理[第6版]』（共著、2019年）、『考える力を高めるキャリアデザイン入門』（編著、2021年）などがある。

< 調査概要 >

- ・調査主体：Indeed Japan 株式会社
- ・調査期間：2019年1月1日～2023年1月1日
- ・調査対象：Indeed 上で行われた「60代」に関連するキーワードを含めた検索
- ・調査方法：日本における全仕事検索数に対する各キーワードの検索割合（100万件あたりの検索数）を月別平均で算出

Indeed（インディード）について

Indeed は、最も多くの人々が仕事を見つけている世界 No.1 求人検索エンジン*です。現在 60 ヶ国以上、28 の言語でサービスを展開し、求職者は何百万もの求人情報を検索することができます。300 万以上の企業が Indeed を利用して従業員を見つけ、採用しています。月間 3 億人以上のユーザーが Indeed を利用**し、求人検索や履歴書の登録、企業の情報検索を行っています。詳細は <https://jp.indeed.com> をご覧ください。

*出典：Comscore 2022 年 9 月総訪問数

**出典：Indeed 社内データ 2022 年 4～9 月